



報道関係各位



2022年3月17日

ビール酒造組合

新成人は18歳に。お酒は変わらず20歳から。 2022年春「STOP!20歳未満飲酒」プロジェクトについて

ビール酒造組合及び会員であるビール5社（アサヒビール(株)・麒麟ビール(株)・サッポロビール(株)・サントリービール(株)・オリオンビール(株)）は、20歳未満者の飲酒防止を目的として2005年より「STOP!20歳未満飲酒」プロジェクトを展開しています。当プロジェクトは例年、4月と12月のキャンペーン期間中に「STOP!20歳未満飲酒」の広告の露出を高め、メッセージの認知向上と20歳未満飲酒防止の浸透を図っています。

今回のキャンペーンでは、4月1日に成年年齢が18歳に引き下げられることに対応するため、お酒は変わらず20歳以上であることを再確認いただくこと、20歳未満者の飲酒がなぜ禁止されているかを正しく理解いただくことを目的に下記の取組みを実施します。

① 4月広告展開

成年年齢の引き下げに対応するため、お酒は20歳以上であることを強調する広告デザインに改訂し、直近5年間で最大の広告出稿費を4月月間で集中的に投入し「STOP!20歳未満飲酒」を告知します。SNS等のデジタルメディアへの広告投入量は前年の約4.5倍に増やし、メインターゲットである10代と親世代を中心に告知する計画です。

② Webサイト 学習コンテンツのリニューアル

STOP!20歳未満飲酒のWebサイトをリニューアルし、10代のための学習コンテンツを拡充しました。キャッチーなイラストを用いた令和版のデザインに変更しただけでなく、学習指導要領に沿った内容に改訂しました。また、動画や理解度チェックテストは小学生向け、中学生・高校生向けを用意し、レベルに合わせて学習いただけるように工夫しました。学校の10代の飲酒防止教育の授業等で、学習コンテンツが利用されることを期待しております。

STOP!20歳未満飲酒 Webサイト <https://www.stop-underageddrinking.com/>

③ 店頭でのPOP掲出

コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア、カラオケボックス等の店舗内で「STOP!20歳未満飲酒」のPOP類をご掲出いただき、20歳未満飲酒防止の告知に取組みます。

<協力団体>

一般財団法人 日本フランチャイズチェーン協会、日本チェーンストア協会

一般社団法人 日本ボランタリーチェーン協会、一般社団法人 日本カラオケボックス協会連合会

